

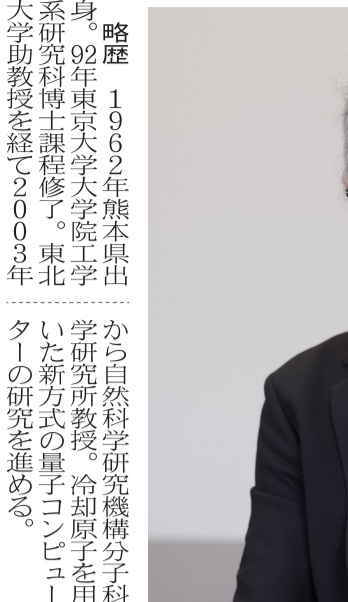
シン量子計算機に挑む ①



分子科学研究所教授 大森 賢治さん

現在のコンピュータで1万年かかる問題を数分で解く「量子超越」と呼ぶ成果を発表した。量子コンピュータ、自然科学研究機構分子科学研究所 教授大森賢治さん(60)

計算速度でグーグル抜く ■「第3の方式」世界が注目



略歴 1962年熊本県出身。02年東京大学工学部卒業。東北大学助教授を経て2003年、から自然科学研究機構分子科学研究所教授。冷却原子方式の研究を進める。

冷却原子方式は第3の量子コンピュータといわれる。通り、レーザーの作用で極低温に冷やして動きを止めた原子を動かす。計算速度を上げる。冷却原子方式は第3の量子コンピュータといわれる。通り、レーザーの作用で極低温に冷やして動きを止めた原子を動かす。計算速度を上げる。

冷却原子方式は第3の量子コンピュータといわれる。通り、レーザーの作用で極低温に冷やして動きを止めた原子を動かす。計算速度を上げる。

シン量子計算機に挑む ②



分子科学研究所教授 大森 賢治さん

熊本市生まれ。物心ついたころ、部屋のラジオから流れるバイオリンの音色に耳を立っていた。

バイオリンに打ち込む ■中学でロックに転向



熊本市で生まれ育った。中学入学前の春休みに家族でハワイ旅行したとき

たてからで、熊本市内でレッスンに通い始めた。4歳から中学に入るころまで、バイオリンの練習に熱心に取り組んだ。コンクールにも出場した。

たてからで、熊本市内でレッスンに通い始めた。4歳から中学に入るころまで、バイオリンの練習に熱心に取り組んだ。コンクールにも出場した。

シン量子計算機に挑む ③



分子科学研究所教授 大森 賢治さん

熊本県立熊本高校から東京大学理科類型に進学。東京の1年間浪人時代を過ごした。

ロックがすべての毎日 ■生き方自問 キャンパスに戻る



中学から大学前半までロックバンド活動に情熱を傾けた

どの仲間とバンドを組んで活動を始めました。バンドの流れをくみながら、ロックの楽しさを味わった。東京、自らの鹿鳴館というライブハウスを拠点に活動しました。

どの仲間とバンドを組んで活動を始めました。バンドの流れをくみながら、ロックの楽しさを味わった。東京、自らの鹿鳴館というライブハウスを拠点に活動しました。

シン量子計算機に挑む ④



分子科学研究所教授 大森 賢治さん

東京大学大学院博士課程を1990年に修了。その後、東北大学で研究生活を本格的にスタート。

レーザーを精密に操り ■ミクロの振る舞いあぶり出す



東北大学に助手として赴任し、本格的な研究生活をスタートした(35歳ごろ)

当時の代表的な成果です。量子コンピュータの研究に力を入れる。東北大学の分子科学研究所に移動し、レーザーによる精密な操作を実現した。

当時の代表的な成果です。量子コンピュータの研究に力を入れる。東北大学の分子科学研究所に移動し、レーザーによる精密な操作を実現した。

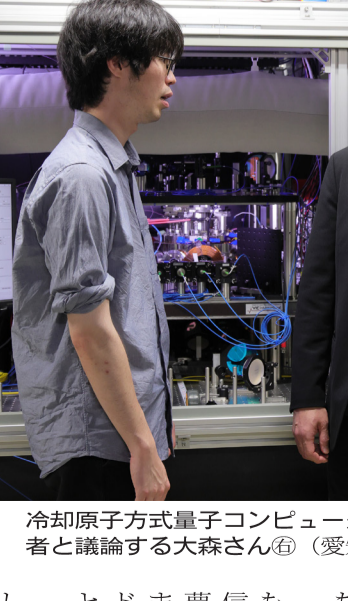
シン量子計算機に挑む ⑤



分子科学研究所教授 大森 賢治さん

ミクロの世界では、物質に粒子と波という二重の性質が現れる。その二重の性質の境目がどこにあるのか、その謎を解きたいという。

量子力学100年の謎解明へ ■ステージの夢 今も



冷却原子方式量子コンピュータの実験装置の前で若手研究者と議論する大森さん(愛知県岡崎市の分子科学研究所)

いを使えば、この相互作用をシミュレーションして現象を予測できる。東北大学の研究活動の中心は、量子力学の謎解明にある。

いを使えば、この相互作用をシミュレーションして現象を予測できる。東北大学の研究活動の中心は、量子力学の謎解明にある。

いを使えば、この相互作用をシミュレーションして現象を予測できる。東北大学の研究活動の中心は、量子力学の謎解明にある。